

2026/8/19	
議 事 録	
アパレル技能科 教育課程編成委員会ミーティング	
日 時	2026年8月6日(木) 16:00～17:00 オンライン
場 所	東京服飾専門学校(3FH4) 豊島区巢鴨1-19-7
企業出席者	株式会社ステップス常務取締役 塚田 龍一様
	株式会社クレヨン人事営業部マネージャー 森井久美子様
	ソーイングアサヒ株式会社 代表取締役 高橋英一郎様
	常勤講師:石川・中島・花園 ビジネス科学科長・石川誠 / 造形科学科長・鷺
欠 席 者	1名
概要	1.教育課程編成委員会の学内位置付けと、教育内容向上への取り組み
	2.教育・育成内容向上に関する取り組み(成果・課題)
	以上について業界の求める人材を学科として育てているか、意見を収集して改善を図る
内 容	挨拶 ・教育課程編成委員会の学内位置付けと、教育内容向上への再確認 ・当校教育理念の共有と時代・価値変化に伴う意義説明
	・教育課程編成委員会の趣旨を説明。 ・今回の教育編成委員会の目的と議事項目の紹介。 ・出席者のご紹介(業界団体様・企業様・非常勤教員様)
	・アパレル技能科
	①1年基礎科
	・はじめに洋服を作る事において必要な基礎部分、自分の作りたい服をデザインし、製図、生地を裁断、縫製を行う一連の流れを身につけさせる事と、総合的に洋服をとらえる事が出来るような授業内容に重きをおいている。
	・しっかりと将来自分の目指す仕事につけるように、学生のうちからやりたい事、出来る事の見極めがつけられ、目標に向かって努力できるように指導を行なってゆく
	②2年アパレル技能科衣装制作コース
	・デザインパターンを重視した作品作り、ヘッドドレス、帽子製作など ・薄物を使った前期ショーの作品作り、繊細な端処理、縫製方法 ・自分のデザインしたデザインをパターンに起こし、生地選び、縫製までの技術を習得
	・舞台衣装の世界で活躍出来る人材の育成
	③3年専攻科
	・作りたい服をデザインに起こしパターン、縫製と高度な服作りができるように指導してゆく。
	・デジタルツールを使った授業,Ipad を使用したコラーージュなどの加工,Ipadを使用したデザイン画
	インタラクティブボードを使用したプレゼンテーションの強化、ポートフォリオ製作(就活用)
	④産学連携実習
	＊小森縫製/連携講座/2年衣装製作コース
	小森縫製の小森社長をお招きし縫製、企業を始めたきっかけから成功までの苦労等現在に至るお話し
	縫製指導、一人一枚半袖シャツ製作(小森縫製独自の縫製方法による製作)
	最後に小森社長から作品の講評をいただく
	＊福山市産業振興課共同授業/2年衣装製作コース
	広島県福山市よりデニム専門染工場の方にお越し頂き、実物サンプルをお持ちいただきデニム講義を実践
	特にデニムは生地、製品ともに洗いの工程が入るため一般にはわかりにくい点もありますが、講師の熱い講義に学生たちも関心が深かったようです。
	＊ふじや染工房訪問・体験/3年専攻科
	新宿早稲田の土地に残る染め工房を訪問、東京ではほぼ唯一の「引き染め」をしている工房。
	伝統工芸として保護対象となっている引き染めを貴重な染色体験、伝統文化体験という2点より見学、体験を実施
	手書きの染め、という貴重な体験から職人の伝統技術に触れることでものづくりへの関心が更に深まったようです。
	[外部見学として]
	1年基礎科＊後期ビッグサイトにて「東京ファッション産業機器展」見学予定
	2年劇団四季「アラジン」観劇、衣装、歌唱と感動的な演劇鑑賞会でした。
研修活動	・職員による勉強会の強化 職員によるミシンなど新しい機材、縫製ルートの確認などの工場見学、研修 有限会社ファッションしらいし、工場見学、会社の歴史、海外ブランドとの直接契約に至るまで。
上記学習報告書を拝読して頂き 委員様からの質問事項等	・1年2年専門とカリキュラムがしっかり組まれている ・本校からの卒業生がソーイングアサヒ様で就職等でお世話になっているが、綺麗に縫えて当たり前でスピード感がない、との事。また「授業内でも4～5人でチームになりミニ縫製工場を作り各自、自分の工程を決めて実践的に1つの作品を作ってみる」との内容を授業に取り入れてはと貴重なご意見を頂きました。
作成者 鷺典子	